

環境白書の刊行にあたって



愛媛県は、平成26年に国立公園指定80周年を迎える瀬戸内海や、変化に富んだ宇和海のリアス式海岸、西日本最高峰の石鎚山を中心に連なる山々といった、美しく豊かな自然に恵まれております。

しかしながら、こうした環境を取り巻く状況は大きく変化しており、自然環境や生活環境の保全等に向け、地域における身近な活動はもとより、地球温暖化の防止や微小粒子状物質（PM2.5）への対応など、国際的な取り組みの重要性が指摘されています。

このような中、県では、「愛のくに ^{えがお}愛顔あふれる愛媛県」を基本理念とする第六次長期計画「愛媛の未来づくりプラン」に基づき、環境面におきまして、「環境と調和した暮らしづくり」、「自然と共生する社会の実現」等を主要政策に掲げ、県民の方々への環境意識の普及啓発をはじめとする、さまざまな施策を推進しているところです。

本書においては、愛媛を取り巻く環境の現状や地球環境の保全、循環型社会の構築、自然環境と生物多様性の保全などを柱として、各分野における具体的な取り組みを紹介しております。

今後とも、本県のかげがえのない財産である自然環境を守り、全国に誇れる環境先進県の実現に向け力を尽くして参りますので、皆様方の更なる御理解と御協力をお願いいたします。

この「愛媛県環境白書」を通して、多くの方々の環境問題に対する関心と理解が深まり、環境保全に向けた取り組みが一層促進されますことを御期待申し上げます。

平成26年3月

愛媛県知事 中村時広